

P検(2018年度) 試験範囲 & 合格基準

等級	区分	出題カテゴリ	出題形式	テスト時間		合格基準(①②共に満たしている場合に合格)		
				出題形式別 ※1	合計	① カテゴリー別 ボーダーライン		② 総合得点基準
						出題数	必要 正解数 (30%以上)	
1級 (1000点満点)	プロフィシエンシー	①情報セキュリティ管理	選択式テスト・その他 論述テスト	90分	合計90分	10問	-	<計10問> ●1000点中700点以上(70%以上の得点率) ●カテゴリー別ボーダーライン(足きり)は無し ●受験条件:2級以上の合格者であること
		②企業内ネットワーク構築						
		③業務プロセス改革						
		④ICTを活用した問題解決						
2級 (800点満点)	一般問題	①コンピューター知識	選択式テスト・その他	30分	合計70分	8問	3問以上	<計42問> ●700点中490点以上(70%以上の得点率) (プロフィシエンシー問題は、1.2倍の配点ウェイトで得点計算します)
		②情報通信ネットワーク				8問	3問以上	
		③情報モラルと情報セキュリティ				8問	3問以上	
	プロフィシエンシー	④ICTを活用した問題解決			10問	3問以上		
	実技	⑤プレゼンテーション	実技テスト ※2	10分		8問	3問以上	
	プロフィシエンシー	⑥総合実技 ※3	複合成果物作成型 実技テスト	30分		1課題	-	●100点中60点以上(60%以上の得点率)
準2級 (700点満点)	タイピング	①タイピング	タイピングテスト	5分		-	-	●100点中/50点以上(日本語375文字以上、あるいは英字638文字以上のいずれか)
	一般問題	②コンピューター知識	選択式テスト・その他	29分	合計60分	10問	3問以上	<計56問> ●600点中390点以上(65%以上の得点率) (プロフィシエンシー問題は、1.2倍の配点ウェイトで得点計算します)
		③情報通信ネットワーク				10問	3問以上	
		④情報モラルと情報セキュリティ				10問	3問以上	
	プロフィシエンシー	⑤ICTを活用した問題解決			8問	3問以上		
	実技	⑥ワープロ	実技テスト ※2	13分		9問	3問以上	
		⑦表計算	実技テスト ※2	13分		9問	3問以上	
3級 (600点満点)	タイピング	①タイピング	タイピングテスト	5分		-	-	●100点中/40点以上(日本語300文字以上、あるいは英字510文字以上のいずれか)
	一般問題	②コンピューター知識	選択式テスト・その他	29分	合計60分	15問	5問以上	<計57問> ●500点中325点以上(65%以上の得点率) (プロフィシエンシー問題は、1.2倍の配点ウェイトで得点計算します)
		③情報通信ネットワーク				10問	3問以上	
		④情報モラルと情報セキュリティ				10問	3問以上	
	プロフィシエンシー	⑤ICTを活用した問題解決			6問	2問以上		
	実技	⑥ワープロ	実技テスト ※2	13分		8問	3問以上	
		⑦表計算	実技テスト ※2	13分		8問	3問以上	
4級 (400点満点)	タイピング	①タイピング	タイピングテスト	5分		-	-	●100点中/30点以上の得点(日本語225文字以上、あるいは英字383文字以上のいずれか)
	一般問題	②コンピューター知識	選択式テスト・その他	25分	合計50分	15問	5問以上	<計50問> ●300点中180点以上(60%以上の得点率) (プロフィシエンシー問題は、1.2倍の配点ウェイトで得点計算します)
		③情報通信ネットワーク				10問	3問以上	
		④情報モラルと情報セキュリティ				10問	3問以上	
	プロフィシエンシー	⑤ICTを活用した問題解決			5問	2問以上		
	実技	⑥ワープロ	実技テスト ※2	10分		5問	2問以上	
		⑦表計算	実技テスト ※2	10分		5問	2問以上	
5級 (100点満点)	一般問題	①コンピューター知識	選択式テスト	15分	合計15分	10問	-	<計30問> ●100点中60点以上(60%以上の得点率) ●カテゴリー別ボーダーライン(足きり)は無し
		②情報通信ネットワーク				10問	-	
		③情報モラルと情報セキュリティ				10問	-	

※1 テスト時間には、受験者情報入力の時間、テスト開始前に説明を読んでいる時間、テスト画面が次のページへ切り替わる時間などは含まれていません。

※2 実技テストは、単一アプリケーションを起動し、課題に基づいて実技操作を行うテストです。

※3 2級⑥総合実技は、ワープロソフト、表計算ソフトを使用し、与えられた課題(目的)に基づいた成果物を作成するテストです。評価は①指示の理解と把握、②適切な操作、③ビジュアル(ビジネス現場で通用する見栄え・見易さ)について行われ、採点は、ヒューマンングレード方式(人による採点)となっています。

- タイピングテストは、日本語入力(ローマ字、かな共通)の場合750文字、英字入力の場合1275文字が出題文字数となり、「入力文字数」÷「出題文字数」で得点が算出されます。(小数点以下切捨て) 尚、日本語入力の場合は、「入力済みひらがなの文字数」によるカウントとなります。
- ワープロ(Word)、表計算(Excel)、プレゼンテーション(PowerPoint)の実技テストバージョンは、「2016」、「2013」、「2010」、「2007」、「2003・2002」に対応しています。
- 「選択式テスト・その他」には、選択式テストの他、等級により、メール操作、ファイル操作、疑似ブラウザ操作、ドラッグ&ドロップ、状況判断型テストなどの出題形式が含まれる場合があります。